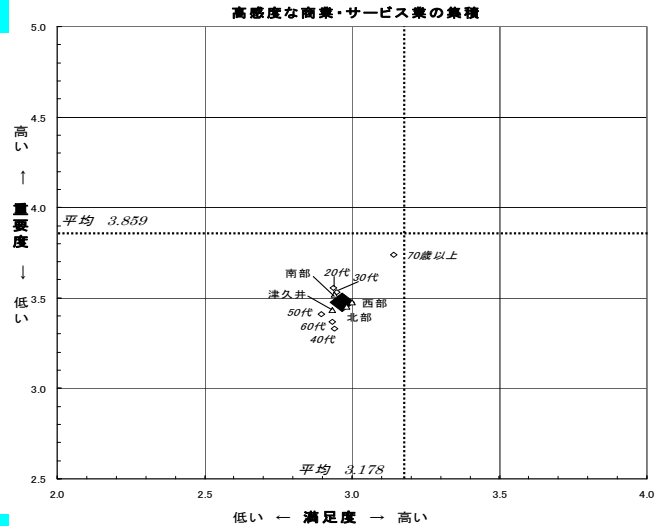


4 市民満足度調査結果(平成20年度実施分)

○この施策の満足度は2.967で121施策の中で114番目。
 ○重要度は3.475で105番目である。
 ○改善要望度は-0.1222で87番目である。
 ○年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、50代で最も低くなっている。重要度は70歳以上で最も高く、40代で最も低くなっている。
 ○地区別にみると、満足度は西部で最も高く、津久井で最も低くなっている。重要度は南部で最も高く、津久井で最も低くなっている。



5 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H18評価点	前回(H18)評価結果との比較分析
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 (2) 1	4 (2) 1	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 2 (1)	4 2 (1)	
合計		3		評価結果に基づく区分(2項目の合計点数による) A(6点以上) B(5点・4点) C(3点以下)
				1次評価 C

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	チャレンジショップ支援事業のビジネスプランの審査会においては、採算性を重視して審査しているため、ハードルが高く入選率が低いものとなっている。
解決策	平成20年度に、審査基準の見直し及び奨励金額の引き下げを行い、より多くの高感度な商業・サービス業者の開業店舗数の増加を図る。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

新しい総合計画の中で施策のあり方を検討する必要がある	2次評価 C
----------------------------	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

31420と同様でチャレンジショップの成果が測れる指標「商店街の販売額」や「商店街の来客数」を出店の前後で測定すること。	3次評価 C
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

構成事務事業一覧

単位:千円

事務事業 担当課	構成事務事業	H19決算見込 (事業費)	H20予算 (事業費)	H21見込額 (事業費)	事業効果 の高い 指標番号	前回の 優先順位	H17人員 (人)	H17決算額 (事業費)	H17合計 (人件費含む)
商業サービス業課	チャレンジショップ支援事業	9,452	14,840	14,840	1	1	0.60	6,264	11,094
商業サービス業課	お店の魅力アップ講座開催 経費	-	-	-		2	0.20	950	2,560
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
		9,452	14,840	14,840			0.80	7,214	13,654